

幼児を対象とした自然体験活動

立少トントンたんけん隊

1 ねらい

- ・低年齢期の子供を対象として、豊かな自然環境の中で、できるだけ多くの子供たちに自然体験活動を提供する。子供たちに自然の中での活動を好きになってもらい、「また自然の家に来たい!」と感じてもらおう契機とする。

2 期日

令和7年4月1日(火)～令和7年10月31日(金) 令和8年1月10日(土)～2月28日(土)

3 対象

幼稚園・認定こども園・保育園・保育所の子供

4 募集人数 / 応募人数 / 参加人数

計 194 団体/4/1～10/31 の期間：146 団体 3,985 名 内日帰り 126 団体 宿泊 20 団体
1/10～2/28 の期間(見込み)：48 団体 1,276 名 宿泊団体なし

5 講師・スタッフ

国立立山青少年自然の家 研修指導員 2 名

6 日程

- ・日帰り

	午前	午後
春～秋 雪のない時期	事前学習 トントン・ハートントンの森探検 こぎの森遊具遊び・登山	前谷の沢歩き
冬 雪のある時期	事前学習 トントンの森探検・しり滑り	チューブそり滑り

- ・宿泊

	午前	午後	夜
1 日目	事前学習	前谷の沢歩き	キャンプファイヤー
2 日目	登山(大丸山・来拝山)	昼食後退所	

7 成果

- ・今年は日帰り料金の導入、圧雪車の故障、クマの目撃情報があったが、利用者を確保することができた。これは、本所の魅力である森、山、沢の自然の中で五感を使った活動をすることで、自然への関心を高めたり感性を養ったりするなど、プログラムの有用性を団体側が強く感じているためと考える。
- ・日常では触れることのない花や虫、動物に出会い、触れたり疑問を持ったりすることで子供たちの自主性、探究心を高められた。
- ・クマ等野生動物対策として活動前に爆竹を鳴らし、活動中音楽を流したことで、利用者が安心して活動に臨むことができた。

8 今後の課題

- ・研修指導員が不足しているため、新しい研修指導員の確保が課題である。
- ・指導料だけでなく日帰り料金も導入したため、体験の質の向上が求められる。指導者が団体に充実した体験を提供するためには、指導力向上の研修を定期的に行う必要がある。
- ・利用団体を確保し続けていくために積極的に発信していく必要がある。

